

地域学校協働活動について

1 地域学校協働活動について

(1) 地域学校協働活動とは

地域学校協働活動とは、地域全体で子ども達の学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動のことである。活動にあたっては、地域の人々や団体により「緩やかなネットワーク」を形成し、地域の実情に応じて活動内容を選択して実施するものとされている。

平成27年12月の中央教育審議会答申で、「地域学校協働活動」を推進することや、同活動を推進する「地域学校協働本部」を全国的に整備することなどが提言された。

本活動では、地域の人的・物的資源を活用したり、放課後や土曜日等を活用した社会教育との連携を図ったりして、学校と地域社会とが積極的につながりをもつことが重要とされている。《別紙参照》

(2) 小中学校の現状と課題

これからの時代に求められる資質・能力を子ども達一人一人に着実に育てていくために、学校は家庭・地域と目標を共有し、「地域学校協働活動等の多様な教育活動が、学校の教育目標の実現に対してどのような役割を果たせるのか」という視点を持つことが重要とされている。「社会に開かれた教育課程」を実現するため、地域学校協働本部等の仕組みを活用し、学校・家庭・地域が連携・協働して、子ども達の学びの充実を図っていくことが必要である。（令和2年度 教員研修の手引きから抜粋）

(3) 活動による効果

本活動は、学校運営の改善に資することを目指しているとともに、子ども、学校、地域それぞれに対して様々な効果が期待できる。

- ①子ども：社会貢献意識、地域への愛着、コミュニケーション力及び学力の向上
- ②教員：授業外活動（部活動、学校環境整備等）の負担軽減による多忙化解消
地域への理解の促進
- ③地域：地域全体の教育力の向上、活動を通じた地域の課題解決や活性化

2 本市の地域学校協働活動の取り組みについて

本市においては、令和2年度に学校支援ボランティア事業をモデル校3校で実施したところ、学校からの活動リクエストとして部活動支援・学校環境整備（消毒作業）があったため、活動する人を募集し日程調整を行った。令和2年度は生涯学習課においてコーディネート業務を担当したが、今後、学校支援ボランティア事業を全校実施するためには、コーディネート業務を担当する組織としての地域学校協働本部と、きめ細かな対応を行う地域学校協働活動推進員（コーディネーター）が必要である。

これまでに構築した地域と学校の相互理解と相互信頼を基盤とする、PTAや家庭教育推進委員会などの既存の組織があるため、これを有効活用した組織体系・活動内容と学校支援ボランティア活動を合わせ、地域学校協働本部へと体制を発展させていくことが望ましい。

来年度の4中学校区への地域学校協働本部の設置に向け、説明の機会を設けながら、立ち上げの準備を進める予定である。



地域学校協働本部とは

地域学校協働本部 の定義 (中教審答申より)

- 社会教育のフィールドにおいて、地域の人々や団体により「**緩やかなネットワーク**」を形成した任意性の高い**体制**。

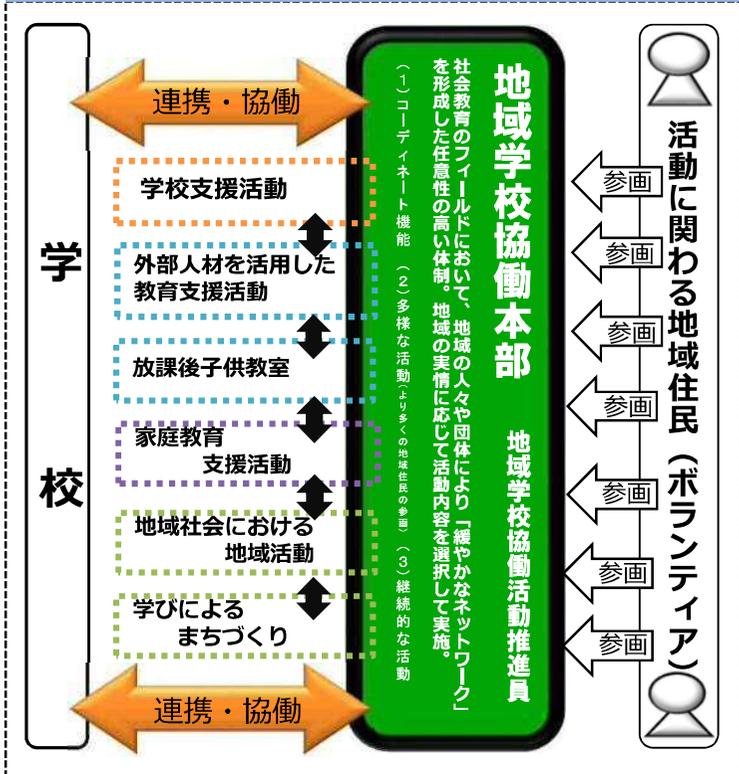
【地域学校協働本部の3つの要素】

- ①コーディネート機能
- ②多様な活動（より多くの地域住民の参画による多様な地域学校協働活動の実施）
- ③継続的な活動（地域学校協働活動の継続的・安定的実施）

体制（ネットワーク）なので、3要素が揃っていれば、必ずしも会議体や事務所を設けないといけないものではない

- 地域と学校が子供たちの育成の方針など目指すべき方向性を共有しつつ、取組を以下の方向へ発展させていく
 - 「支援」 → 「連携・協働」へ
 - 「個別の活動」 → 「総合化・ネットワーク化」

イメージ



なぜ地域学校協働本部を整備するのか？ ～3つの要素から～

① コーディネート機能

- 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター含む）を中心に、地域学校協働活動全体としての目標・ねらいが共有できる。
- 様々な分野に強みを持つ人々が集うことにより、コーディネーター個人を超えた、より広い地域人材の確保・ネットワークの構築が可能に。

② 多様な活動

- 多様な人材・活動がつながることにより、興味関心や思いを同じくする仲間ができ、そこから新たな活動が生まれる。
- 実施する活動が多種多様なものになることにより、参加できる活動やメニューが広がるため、活動に参加できる子供や地域の方が増える。

③ 継続的な活動

- 関係する様々な人材が有するネットワークを活用できるため、コーディネーター個人の人脈に依存せず、継続的に活動することが可能に。
- 様々な活動・人材の情報を共有できるため、活動間での偏り（参加される地域の方の人数、開催場所、時間等）を調整し、安定的に活動が可能に。

地域学校協働活動<イメージ図> キーワード：地域の教育資源の発掘・子育ての社会化

